

内視鏡検査で胃がん・大腸がんを予防しよう

「痛い」「つらい」そんな内視鏡検査のイメージが変わる

おなかの話

きたながせ内科クリニック院長・難波真太郎先生に聞きました

日本では、がん患者の4人に1人が胃がん・大腸がんで死亡しています。特に、最近、日本で大腸がんが増えていることが問題になっています。どうすればがん罹(り)患率を減らせるのか。有効な予防方法について、胃腸の内視鏡検査と検査中のポリープ切除を得意とする「きたながせ内科クリニック」院長・難波真太郎先生にお話を伺いました。



難波真太郎先生
(きたながせ内科クリニック院長)

「胃がんはピロリ菌の除菌」「大腸がんはポリープ切除」で、がんの発生リスクを減らし予防することができます。また、胃がん・大腸がんは早期に発見し治療できれば高い確率で治すことができ、他のがんより予後が良好な傾向があります。

現在は楽に胃カメラ・大腸カメラを受ける方法があるので、予防と早期発見・早期治療のために、症状がなくても定期的に胃カメラ・大腸カメラを受けましょう。

2003年東京医科大学医学部卒業、2011年岡山大学大学院博士号取得。姫路赤十字病院第一消化器内科副部長、岡山赤十字病院消化器内科医長を経て、2021年きたながせ内科クリニックを開院。日本内科学会総合内科専門医、日本消化器内視鏡学会専門医、日本消化器病学会専門医、厚生労働省認定麻酔科標榜医、日本医師会認定産業医

大腸の話

40歳になったら
大腸がん検診を受けましょう

日本では、食生活の欧米化に伴い、大腸がんにかかる人が増加しています。年間約15万人が新規に罹患し、約5万人が亡くなっています。臓器別に見た死亡原因では、女性は大腸がんが第1位です。

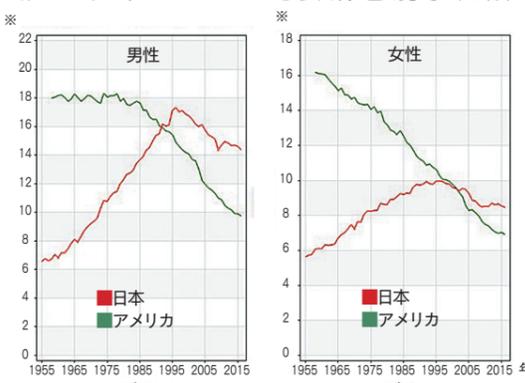
大腸がんはポリープから発生する

大腸がんの原因の多くはポリープです。ポリープには「腫瘍性ポリープ」と「非腫瘍性ポリープ」があり、腫瘍性ポリープの方は、時間経過とともにがんに変化していく可能性があります(左下イラスト参照)。

米国では腫瘍性ポリープを全て切除し、がん死大幅減少

日本で大腸がん死亡者数が増えている一方、アメリカでは減り続けています(右グラフ)。

理由として考えられるのは、アメリカでは①大腸がん検診受診率が高い②発見した腫瘍性ポリープは全て切除する「クリーン・コロン」を推奨・実施してきた③点、④一方、日本では①大腸がん検診受診率が低い②検診を受けてもらいたくない③また、最近になって根を張ると入院手術になるので、いかに早く見つけるかがポイントです。



大腸がん死亡者数年次変化 出典:WHO
※年齢調整死亡率(人口10万人対)

大腸がん こんな人は検査がお勧め

- 40歳以上で大腸カメラ受診歴なし
- 排便時に出血がある・便に血が付着する
- 健康診断で便潜血検査が陽性になった
- 貧血がある、急激な体重減少がある
- 以前に比べ便が細くなった
- 便秘や下痢が長引く、おなかが痛む・張る
- 血縁者に大腸がんの人がいる



腫瘍性ポリープの一つである腺腫ポリープが、がんに変化していく経過。腺腫内がんまでなら内視鏡検査で切除することができます



同院のようにトイレ付きの個室があると落ち着いて内視鏡検査が受けられます。鎮静剤を使用する場合、検査後、約1時間休んでから帰ります



「胃がん・大腸がんの共通点は①40歳を超えると増加する②症状が出てからでは進行している場合が多いです。早期発見・早期治療のために内視鏡検査を定期的に行うことが大切です。」

以前、勤務していた総合病院で、なぜ内視鏡検査が敬遠されるのか本音を聞きたいと思い、患者さんにアンケートを実施

鎮静剤使用で検査中の痛みなし

「忙しい」と思われ、なかなか受診できない患者さんが多いです。検査が「恥ずかしい」という方には女性医師による検査が可能です。また、「忙しい」「平日仕事を休めない」方には、昼休みや土・日曜にも検査を受けられるようにしています。お気軽に相談してください。

女性医師の大腸検査も可能

検査が「恥ずかしい」という方には女性医師による検査が可能です。また、「忙しい」「平日仕事を休めない」方には、昼休みや土・日曜にも検査を受けられるようにしています。お気軽に相談してください。

胃がんは「ピロリ菌の除菌」、大腸がんは「ポリープ切除」によって、がんの発生リスクを減らし予防できる、数少ないがんです。

予防と早期発見・早期治療のために定期的に胃カメラ・大腸カメラを受けましょう。

不安や心配があれば、気軽に専門医に相談してみよう。

胃カメラ・大腸カメラを楽に不安なく受けるためのポイント

心配や不安な点について事前にしっかり相談する／痛みが不安であれば鎮静剤を検討する／内視鏡検査の経験が豊富な医師がいる、検査に関する不安を取り除く配慮がある、質問に詳しく説明してくれる医院を選ぶ

検査の話

鎮静剤を使うことで眠っている間に検査終了
ポリープ切除のときも痛みは感じません



表面の構造までよく分かる特殊レーザー光内視鏡を使えば、通常の内視鏡では見つけにくい早期がんも見しやすくなります

胃の話

定期的な内視鏡検査を受け、胃がんの原因になるピロリ菌検査と除菌治療を受けましょう

胃がんの原因の多くはピロリ菌です。ピロリ菌を除去すると、胃がんの発生率が約3分の1に低下します。ピロリ菌除菌の普及により、胃がんの死亡率は以前より下がっていますが、依然として年間12万6000人が新たに罹患し、約4万人が亡くなっています。

厚生労働省が胃がん検診を実施しているのは、バリウム検査と胃カメラ(内視鏡検査)です。2つを比較した場合、直接胃た人でも胃がんになるリスクはあります。症状はなくても定期的な胃カメラの方が、胃がんの死亡リスクを下げましょう。

胃がん こんな症状のある人は検査がお勧め

- 貧血
- 胃の不快感・腹痛
- おなかの膨満感
- 血の混ざった黒い便(タール便)
- 食欲不振
- 嘔気嘔吐(おうきおうと)
- 全身の倦怠感、体重減少



内科・消化器・内視鏡

きたながせ内科クリニック

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
8:30~12:00	●	●	●	/	●	●	
12:00~15:30	○	○	○	/	○	○	第2週
15:30~18:30	●	●	●	/	●	▲	

- : 内科・消化器診察、内視鏡検査
- : 内視鏡検査、日帰り大腸ポリープ切除
- ▲: 土曜午後の診察は17時まで

※受付は診察終了の15分前まで

■: 第2週日曜日、9:00~14:00
予約・内視鏡検査の方優先
(※受付は11:00まで)

公式サイト



WEB予約可

休診日
木曜日、祝日



〒700-0962 岡山市北区北長瀬表町2丁目17番80号
ランチ岡山北長瀬2F

086-239-1107

←倉敷駅 北長瀬駅 山陽本線 岡山駅→

岡山市民病院 ● 岡山北長瀬 ● ドーム ●

きたながせ内科クリニック

ザグザグ北長瀬店 ●

アキュラホーム岡山展示場 ●

西長瀬 ● ユニコロ中仙道店 ●

● ホンダカーズ岡山 ● セブンイレブン岡山倉敷線(日2号線) 大野辻・大供→

北長瀬駅南口 徒歩1分 P 425台 駐車場サービス券をご用意しています